

# 地区における連携について (決議事項)

平成22年1月23日

日本宇宙少年団本部

## 基本的な考え方

1. 現在、全国で130の分団が活動を行っており、分団の数は、年々増加している。また、近隣地域での分団設立の協力や水 Rocket 地区大会など、地区内での連携活動の機会も増えてきている。
2. 近隣分団との連携・協力は、それぞれの活動の幅を広げるとともに、新規分団結成も含めた各地区におけるYAC活動の基盤強化につながる。
3. 昨年、本部運営委員会が設置され、各地区毎に担当委員が指名され、地区毎の活動の支援も行われてきている。
4. 今後、より細やかに地域毎の活動が相互支援されるためにも、更なる地区毎の分団の連携・協力が不可欠と考えている。
5. 以上より、これまで任意参加であった地区連絡協議会を、地区毎の活動、連携協力の中核組織と位置づけ、全ての分団は、地区連絡協議会に所属し、地区毎の更なる活性化を図るものとしたい。

## 位置づけ及び今後の進め方について

### <地区連絡協議会の役割>

- \* 地区内組織の連携強化と活動の向上を目的とした、情報交換・研修
- \* 水 Rocket コンテスト地区大会等の調整・とりまとめ
- \* 地区内での宇宙教育活動における本部・他地区との窓口

### <規約の改定>

前述の方針に基づき、地区連絡協議会について、別紙1の通り、規約の改定を行うこととしたい。

### <地区毎の調整>

24日の地区毎の協議を含め、平成22年9月末頃を目処に、次の内容について各地区で調整をお願いしたい。

- \* 会長及び世話人の選出(兼任可)
- \* 地区連絡協議会規約等の起草
- \* 地区内での連絡・情報交換の具体的方法の検討